自昭和十二年九月二十四日
至昭和十二年十月二日

其三 荻徑クリーク北附近ノ戰鬪

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

敵經營ニ關スル報告目次

敵ノ概況 一三頁

地形及住民ノ狀態 一四頁

敵我ノ兵力交戰セシ團隊幷將卒ノ氏名 一五頁

編制裝備素質及訓練 一七頁

戰鬪經過

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0342

戰鬪前ニ於ケル彼我ノ態勢

イ、敵ノ有力ナル一部ハ無電台及文衡堂附近ニ在ルモ敵主力ハ荻徑「クリーク」附近ニ於テ抵抗ヲ試ミルモノヽ如シ

ロ、友軍ノ態勢其ニ別紙第四ノ如シ

二三

1545

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

地形及住民地ノ狀態

イ、大ナル變化ナキモ無電台文衡堂以西ハ稍高台ヲナシアリ且一般ニ地形隱蔽シアルヲ特徴トス

ロ、無電台ニハ「コンクリート」製建造物四ヲ有シ且周圍ニハ鐵柵ヲ廻ラシアリテ防禦ヲナスニハ好キ地形ナリ

ハ、「クリーク」ハ圖上ヨリ數多シ

荻徑「クリーク」ハ中約三十米狹キ所ニシテ十七八米ナリ

兩岸ハ斷岸ヲナシ比高三米內外アリ

水深ハ二乃至二、五米アリ

流速ハ干滿潮時ニ於テ二秒米內外輕渡河棧料ハ流失スル惧アリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

彼我ノ兵力交戰セシ團体歸將師ノ氏名編成裝備
素質及訓練

イ 彼我ノ兵力

敵ハ第六十六軍ノ殘部及第十五師（中央傍系）第五
十七師（中央傍係）ニシテ其總兵力ハ七千ヲ下ラス我
ハ連日ノ戰鬪ニ兵力頓ニ消耗シ二十四日ニ於ケル戰鬪人
員ハ約八百名ナリ

ロ 將師ノ氏名

第六十六軍　前記ノ如シ
第十五師　王東原
第五十七師　阮肇昌

ハ 編成

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第十五師三ケ旅ヨリ成リ細部ハ不明ナルモ次ノ特科隊ニ
ヲ有スルモノヽ如シ
騎兵連、砲兵營、工兵營、通信連、輜重兵連
第五十七師右ニ同シ
〃 裝備
裝備ハ普通程度ナルモ自動小銃ヲ有スルヲ特徵トス
素質及訓練
第十五師 素質訓練充分ナラス
第五十七師 民國二十四年嘉興ニ於テ部隊ヲ整理セ
シニ依リ相當ナル戰鬪力ヲ有スルモノヽ如シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

戰鬪經過

九月二十三日午後九時三十分旅團命令ニ基キ左記聯隊命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令　於東部小朱宅

一、當面ノ敵ハ西方ニ退却セルモ尚一部ハ無電台東側文衡堂東側陣地ニ據リ抵抗ヲ續ケアリ
左右兩翼隊ハ依然進展ヲ見ス

二、中央隊ハ依然前任務ヲ續行シ所命ノ線ニ進出ヲ企圖ス

三、聯隊ハ本夜現在地ヲ確保シ明後二十五日以後ノ師團攻撃計畫第三次線ヘノ進出ヲ準備セントス

四、第一線各大隊（配屬鉄除部隊故ノ如シ）ハ本夜堅固ニセ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ニ陣地ヲ構築シ現在線ヲ確保スヘシ

五、第二大隊ハ特ニ本夜右側ヨリスル敵ノ逆襲ヲ豫想シ之ニ對スル準備ヲ遺憾ナカラシムヘシ

尚右翼隊ノ攻撃前進ニ當リテハ大隊ノ重火器ノ一部ヲ以テ其戰鬪ニ協力スヘシ

六、第三大隊ハ右第二大隊及左第一大隊ニ密ニ連繫シ現在線ノ確保ニ任スヘシ

七、第一大隊ハ第三大隊ニ連繫シ現在線ノ確保ニ任スヘシ特ニ當里南方ヨリスル敵ノ逆襲ヲ豫想シ之ニ對スル準備ヲ遺憾ナカラシムヘシ尚第十八聯隊ノ攻撃前進ニ當リテハ大隊ノ重火器ノ一部ヲ以テ其戰鬪ニ協力スヘシ

八、戰鬪地境故ノ如シ

ニヘ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

九、野砲兵隊ハ逆襲阻止射撃ノ左ノ如ク準備ス

イ、劉家宅及同東南西南方地區　約二中隊（4H一中12H一中）

ロ、金家灣西側及同北方地區　約二中隊（12H）

ハ、書里西方地區及文衡堂東側本道地區約二中隊

〃、無電台地區及十二房附近　12H二中隊

十、工兵隊ハ本夜各大隊ノ第一線部隊ト後方部隊トノ交通作業ノ實施ス

十一、戰車中隊ハ現在地ニ在リテ爾後ノ攻撃ノ準備ス　ヘシ尚拂曉後本道方面ヨリスル敵ノ逆襲排除ノ顧慮ノ一部ノ以テ其準備ニ任セシムヘシ

下達法　要旨電話後命令受領者ノ集メ口達筆記セシム

九月十日第二大隊ノ部隊ノ整理ヲナスト共ニ右側ヨリスル逆襲ニ對シ二九

0348

122 95

1551

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(雨) 警戒シ爾後ノ攻撃ヲ準備ス

第一大隊正面ノ敵ハ逐次金家灣西北方無名部落ニ集結シ
第一大隊ノ狀況アル狀態ナリ此處ニ於テ砲兵ニ要求シ此ノ敵ニ擾亂ノ射撃
ヲ實施セリ其効果極メテ大ニシテ敵ハ十二房劉家宅方
面ニ四散セリ

第三大隊第三大隊ハ一意攻撃準備ノ目的ヲ以テ敵狀地形ノ偵察ヲ
狀況行フ

第一大隊第一大隊ハ一部火力ヲ以テ左第十八聯隊ノ王丸房攻撃ニ
狀況協力スルト共ニ第二中隊ヲ以テ喬里部落ノ掃蕩ノ前日ニ
引續キ實施シ本日略々完全ニ掃蕩シタルモ尚一ヶ二機關
銃陣地ノ殘レルモノアリ

第三大隊正午頃第三大隊ヨリ爾後ノ攻撃ニ關スル意見具申アリ

1552

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

意見具申　左ノ如シ

イ二十四日近迫作業ニ依リ楊家宅西方「クリーク」東岸ニ攻撃陣地ヲ推進ス

ロ二十五日黎明砲兵ノ協力ヲ得テ「クリーク」西岸ノ敵ヲ攻撃シ該線ニ於テ爾後ノ攻撃ヲ準備ス

ハ無電台ノ敵ハ二十六日黎明攻撃スル豫定ナリ

第三大隊ノ此意見具申ハ戦力消耗シ動モスレハ沈滞シ勝チナル時ニ積極的攻撃ノ意見ヲ申出テタルモノニシテ精神的ニ聯隊ノ爾後ノ戦闘指導ヲ容易ナラシメタリ聯隊ハ此意見ヲ採用シ午後十時左記聯隊命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令　於東部小朱宅

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一、敵ハ無電台東側陣地ニアリテ依然抵抗ヲ續ケツヽアリ中ニ
　　突隊ハ依然前任務ヲ續行ス
二、聯隊ハ明二十五日黎明ヲ期シ一部ヲ以テ金象灣畜里ノ
　　中間ノクリークニ前岸陣地ヲ奪取シ爾後ノ攻撃ヲ準
　　備セントス
三、第二大隊ハ近迫作業ニ依リ逐次據點ヲ推進シ爾後ノ
　　攻撃ヲ準備スヘシ尚明拂曉一部火力ヲ以テ第三大
　　隊ノ戰鬪ニ協力スルノ準備ニ在ルヘシ
四、第三大隊ハ本夜近迫作業ニ依リ敵前至近ノ距離ニ近
　　迫シ明黎明午前六時ヲ期シ無電台東側ノクリークノ
　　前岸陣地ニ突入該地ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ
五、第一大隊ハ本夜第三大隊ニ連繫シ一部ヲ以テ近迫作

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

業ニ依リ據點ヲ前方ニ推進シ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ
特ニ一部火力ヲ以テ明拂曉第三大隊ノ戰鬪ニ協力スルノ準備ニ在ルヘシ

六、野砲兵第一大隊ハ明拂曉主火力ヲ無電台東側地區
三、部火力ヲ其ノ兩側ニ準備シ第三大隊ニ對スル逆襲ニ
阻止竝ニ敵ノ側防火器ノ制壓ニ任スヘシ

七、工兵隊ハ本夜第一線陣地ノ推進作業ヲ援助シタル後
第三大隊正面ニ二條ノ架橋作業ヲ實施シ歩兵ノ戰鬪
ニ協力ス

八、戰車中隊ハ明拂曉以後第三大隊ニ對スル逆襲ニ對
應スルノ準備ニ在ルヘシ

下達法 要旨ヲ電話後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

九月二十日第三大隊ハ命令ニ基キ昨二十四日夜ヲ利用シ楊家宅西一㎞
(雨)
ノ状況 方「クリーク」東岸ニ據點ヲ推進シ黎明全ク奇襲的ニ
第三隊西岸陣地ニ突入シ午前六時之ヲ確保セリ
戰鬪經過 野砲兵第一大隊ノ活躍

ハ午後一時三十分壹里北方「クリーク」ノ機關銃ヲ制壓シ第
三大隊ノ攻撃ニ協力シ効果大ナリ

ロ午後二時十分無電台東側陣地構築中ノ密集部隊
ヲ認メ直チニ射撃シ効果大ナリ以後工事ヲ爲サス

ハ午後二時四十分無電台東側陣地ヨリ南ヘ横行スル歩
兵部隊アリトノ報ヲ受ケ直チニ射撃ヲ以テ之ヲ擾亂セリ
敵ハ四散シテ以後現出セサリキ

ニ午後三時三十分壹里北方「クリーク」岸ニ於テ敵機關

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

銃猛威ヲ振ヒツヽアルヲ制壓セリ

5. 午後二時四十分文衛堂部落内ニ在ル敵歩兵約一ケ大隊ニ擾亂射撃ヲ實施シタリ

第二、第一大隊ハ第三大隊ノ戰鬪ニ火力ヲ以テ援助セリ

歩兵第六十八聯隊ハ本日頑強ナル潘涇陣地ヲ奪取シ林家巷歸家衡ノ線ニ進出セリ

午前十時爾後ノ攻撃準備命令ヲ左記ノ通リ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令　於東部小朱宅

一、第三大隊ハ本朝六時ヲ期シ金家灣南方點線路ノ「クリーク」前岸陣地ヲ奇襲シ大ナル抵抗ヲ受クルコトナク該陣地ヲ奪取セリ

右翼隊ハ本日午後二時攻撃ヲ開始シ林家巷東方無

一三五

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

名部落ノ線ニ進出スル豫定

歩兵第十八聯隊正面ノ敵ノ抵抗頑強ニシテ西部王丸房ヲ奪取スルニ至ラス

二、聯隊ハ逐次攻撃陣地ヲ推進シ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス工兵中隊ハ前任務ヲ續行スルノ外無電台附近陣地障碍物ノ狀態及其強度ヲ偵察ス

三、第一線各大隊ハ現在地ヲ確保スルト共ニ一部ノ據點ヲ逐次對壕作業ニ依リ前方ニ推進シ敵情地形ヲ偵察シ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ

四、戰車中隊ハ無電台附近ノ陣地ニ對シ威力捜索ヲ準備スヘシ 野砲兵第一大隊ノ主力ヲシテ協力セシム

五、野砲兵第一大隊ハ絶エス敵情ヲ偵察スルト共ニ其一部

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ヲ以テ隨時第一線ニ陣地ヲ推進シ主火力ヲ以テ戰車中隊ノ攻撃ニ協力スルノ準備ニ在ルヘシ

九月十日第一線各大隊ハ逐次陣地ヲ推進シ攻撃ノ準備ス

雲後雨ノ狀況

第二大隊ノ一部ハ午後零時三十分攻撃ヲ開始シ午後一時十五分劉家宅東南無名部落ヲ奪取セリ午前八時ヨリ小行李ノ一部ヲ以テ小朱宅火燒場附近戰場掃除ヲ實施ス

大行李ハ依然寺前村附近ニ位置シ糧秣補給竝ニ郵便物飲料水ノ運搬ニ任ス

小行李主力ハ依然現位置ニアリテ彈藥補給ニ任スルト共ニ押收資材ノ整備ニ任シタリ

午後十一時三十分左記聯隊命令ヲ下達セリ

一二ヒ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

歩兵第三十四聯隊命令　於東部小朱宅

二、敵情變化ナシ

第十一師團ハ戰況有利ニ進展シ逐次南下シアリ歩兵第六十八聯隊ハ王殿宅、劉家宅ノ線ニ進出シ爾後ノ攻撃ヲ準備シツヽアリ

左翼隊ハ依然前任務ヲ續行ス

二、聯隊ハ明二十七日黎明ヲ期シ一部ヲ以テ無電台ヲ奪取セシメ引續キ十二房無電台ノ線ニ進出シ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス

工兵隊ハ依然前任務ヲ續行シ歩兵戰闘ニ協力ス

三、第三大隊ハ明黎明一部ヲ以テ第三大隊ノ無電台ノ攻撃ニ協力セシメ主力ヲ以テ十二房前方ニ陣地ヲ推進シ

三八

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

十二房敵陣地ヲ奪取シ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ

十二房ニ對スル攻撃前進ノ時機ハ別命ス

尚攻撃ニ當リテハ歩兵第六十八聯隊ト密ニ連繫スヘシ

四、第三大隊ハ本夜近迫作業ニ依リ敵前至近ノ距離ニ迫リ明黎明五時三十分ヲ期シ無電台陣地ニ突入シ該地ヲ確保爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ

特ニ第二大隊ノ一部ト密ニ連繫スヘシ

五、第一大隊ハ第三大隊ニ連繫シ一部ヲ以テ「クリーク」前岸陣地ヲ明黎明五時三十分ヲ期シ奪取爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ

尚明拂暁以後一部火力ヲ以テ隨時第三大隊ノ戰鬪ニ協力シ得ル ノ準備ニ在ルヘシ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

六、戦況地境左ノ如シ

Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 故ノ如シ
Ⅰ、Ⅲ 金家灣中央ヲ圖上ニ北端ヲ連ヌル線
Ⅱ 故ノ如シ

七、戦車中隊ハ明拂暁以後本道方面ヨリ前進シ第三、第一大隊ノ陣地確保ヲ容易ナラシムヘシ

八、野砲兵第二大隊ハ明天明以後第一線大隊ノ戦闘ニ協力スヘシ尚砲兵隊ハ主力ヲ以テ一時聯隊ノ戦闘ニ協力ス砲兵ノ火力準備要領左ノ如シ

逆襲阻止ノ為メ
文衛堂附近 約一大隊
無電台西側附近 右同
十二房東側附近 右同

三、

1562

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第三大隊十二房攻撃ノタメ十二房附近約二大隊
火力運用ノ細部ニ關シテハ野砲兵第一大隊長之ヲ企
畫スヘシ

下達法 大隊副官ヲ集メ要旨ヲ口達シタル後印刷交附

九月十日 第三大隊ハ本未明敵情ヲ捜索シタル結果無電北側
(晴)(北)地區ニ大ナル敵無キヲ知リ直チニ一部ヲ以テ無電台ヲ
(狀)第三大隊 戰鬪經過 占領セシメ午前五時三十分主力ヲ以テ無電台陣地ニ突
入シ大ナル抵抗ヲ受クルコトナク之ヲ占領シ劉家行ニ對ス
ル攻撃ヲ準備ス

第三大隊第二大隊ハ第六中隊ヲシテ第三大隊ノ無電台攻撃ニ
戰鬪經過 協力セシメ主力ハ黎明時攻撃前進ヲ起シ對壕作業
ニ依リ逐次陣地ヲ推進シ午後二時四十分十二房ヲ奪ニ三

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

取シ劉家行ニ對スル攻撃ヲ準備ス

第大隊第一大隊ハ黎明攻撃前進ヲ起シ先ツ壷里西岸ノ敵陣地ヲ奪取シ引續キ文衡堂東側地區ヲ掃蕩シ午前九時文衡堂西端ニ進出シ該地ヲ確保シ北沙宅及西部張家宅方向ノ敵情地形ノ偵察ヲ實施ス

戦闘経過

戦車中隊ハ第一、第三大隊ノ戦闘ニ協力スヘク午前六時四十分朱家宅ヲ出發シ無電台及文衡堂附近ニ於ケル第一線ノ陣地確保ニ各々一ケ小隊ヲ以テ協力シ午後三時半頃逆襲ノ顧慮少キ狀況ヲ知リ歸還セリ

戦車中隊ノ行動

聯隊ハ以上ノ狀況ヲ知リ午後三時左記命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令　於東部小朱宅

一、當面ノ敵ハ主力ヲ以テ狀徑「クリーク」西岸ニ退避セルモノノ如シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第二大隊ハ午後二時四十分十二房ヲ奪取シ續イテ北店宅ヲ攻撃中ナリ

第三第一大隊ヲ各當面ノ敵ヲ攻撃シ無電台東側文衡堂西側ノ線ニ進出セリ

右翼隊ノ主力ハ齊寧宅沈家巷ノ線ニ進出シ續イテ攻撃前進中ナリ

歩兵第十八聯隊ハ一部ヲ以テ本日午後張家宅ヲ攻撃スル筈

二、聯隊ハ北店宅及文衡堂西側ノ線ニ進出シ荻徑「クリーク」西岸ノ敵陣地ニ對シ攻撃ヲ準備セントス、

工兵隊ハ一部ヲ以テ聯隊ノ攻撃準備ニ協力スル筈

三、第二大隊ハ北店宅ヲ占領セハ一部ヲ以テ其西方無名部

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

落ヲ攻撃スルト共ニ西北方ヨリスル敵ノ逆襲ニ備ヘツヽ一部
當面ノ敵陣地ニ對シ攻撃ヲ準備スヘシ
四、第三、第一大隊ハ其ノ第一線ヲ以テ北店宅文衡堂西
側ノ線ニ進出シ「クリーク」前岸陣地ニ對スル攻撃ヲ準
備スヘシ 時ニ日没進ミ一部ヲ以テ「クリーク」東方ニ残存
スル敵ヲ掃蕩スルニ努ムヘシ
五、戰闘地境ヲ左ノ如ク延伸ス
Ⅱ 図上M.0北側ー劉家行南側ー老檣宅南側
Ⅲ
Ⅰ 楊家宅南端ー李家宅南端
六、野砲兵第一大隊ハ逐次陣地ヲ前方ニ推進シ隨時第
一線大隊ニ協力スルト共ニ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ
七、戰車中隊ハ日没迄ニ「クリーク」前岸陣地ノ偵察ヲ實

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

施シタル後爾後ノ行動ヲ準備スヘシ

予ハ午後二時小朱宅ニ向ヒ前進ス

下達法　要旨電話後印刷交附

第二大隊第二大隊ハ十二房攻略後北店宅ヲ奪取セントシタル戦闘経過モ橋梁附近ノ掩蓋機關銃ノ爲遂ニ奪取スル能ハサリキ

第一大隊第一大隊ハ前記命令ニ基キ第四中隊ヲシテ北沙宅戦闘経過附近ノ敵ヲ攻撃スヘキヲ命シタリ第四中隊ノ一小隊ハ砲兵協力ノ下ニ側背ヨリ迫リ遂ニ午后六時三十分北沙宅ヲ占領セリ

九月二十日野砲兵第一大隊ハ一部火力ヲ以テ第一大隊ノ北沙宅(晴)ノ攻撃ニ協力セリ

第二大隊ハ午前九時三十分攻撃ヲ開始シ午前十一時頃

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

東部北沿岸ヲ奪取セリ

第一、第三大隊ハ逐次對壕作業ニ依リ攻撃陣地ノ推進ニ努メタリ

午後十一時三十分左記旅團命令ヲ受領ス

歩兵第二十九旅團命令（要旨）於項宅

一、敵情略ス

二、左翼隊ハ依然前任務ヲ續行セントス

三、歩兵第三十四聯隊ハ明二十九日荻徑「クリーク」ノ線ニ進出シ爾後右翼隊ノ攻撃ニ連撃シ劉家行ー陸家橋西端「クリーク」ノ線ニ進出スル目的ヲ以テ之カ準備ヲナスベシ

四、荻徑「クリーク」對岸ノ敵ニ對スル攻撃ハ明後三十日ト豫定ス

上野少將

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

午後十一時五十分荻徑「クリーク」渡河準備ニ關スル旅團命令ニ基キ左記聯隊命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令　於東部小朱宅

一、敵情略ス

二、聯隊ハ明三十九日荻徑「クリーク」ノ線ニ進出シ明後三十日同「クリーク」西岸ノ敵ニ對スル攻撃ヲ準備セントス

進出線ハ劉家行、陸家橋西端「クリーク」ノ線トス

野砲兵第一大隊及戰車第一中隊、工兵第一中隊ノ之ニ協力ス

三、各大隊（歩兵砲ノ配屬ヲ解ク）ハ明三十九日日沒後成ル可ク速ニ荻徑「クリーク」東岸ニ進出シ明後三十日ノ黎明攻撃ヲ準備スヘシ

一三七

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第二大隊ニ速射砲ノ主力第三大隊ニ速射砲一小隊ヲ配ニ
屬ス

明後三十日ノ攻撃開始ハ午前五時三十分ト豫定ス
情況ニ依リテハ明ニ十九日攻撃ヲ實施シ得ルノ準備ニ在
ルヘシ

四步兵砲中隊ハ明二十九日荻徑「クリーク」西岸ノ敵機關
銃陣地ヲ破壞スヘシ
尚一部ヲ以テ第二大隊ノ攻撃ニ協力シ得ルノ準備ニアル
ヘシ

下達法 要旨ヲ電話後命令受領者ヲ集合達筆記セシム
決心處置ノ主ナル理由
一重點ヲ中央ニ保持シタルハ側背ノ脅威少ク突破容易

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

決心及ナリト思考シタルカ爲ナリ
處置ノ主ナル二攻撃時機ヲ黎明ニ選定シタルハ理由ノ砲兵カ少シ
二、聯隊ノ最モ慣熟セル戰法ナリ
三歩兵砲ヲ統一シタルハ砲兵カノ不足ヲ補ハンカタメト地形上火カノ振廻シニ適スルヲ以テナリ
四速射砲ヲ右大隊ニ主カヲ配屬シタルハ第二大隊ノ右側ニ特ニ堅固ナル火點多數有スルヲ以テナリ

九月二九日第二大隊ハ午後零時三十分西部北店宅ヲ奪取セリ
午前第三大隊ヨリ攻撃時期ヲ十月一日ニ延期スヘキ意見具申アリ
第二大隊戰闘經過ニ依テ聯隊ハ左ノ理由ヲ以テ旅團ニ攻撃時機ヲ十月一日ニ延期セラル様意見具申ヲナセリ

攻撃時ノ現在ノ各大隊ノ攻撃準備ノ進捗状態ニテハ明黎明ニ
機延期ノ攻撃ニハ成功ノ確信ヲ持チ得ス
之、聯隊ノ戦力ハ極度ニ減少シアルヲ以テ一度攻撃失敗
セシカ再興ニハ多クノ時日ヲ要ス
依テ一日延期シ確信ヲ以テ攻撃ヲ實施スルヲ可トス
此意見具申ハ採用セラレタルヲ以テ午後一時左記命令ヲ
下達ス

歩兵第三十四聯隊命令　於小朱宅

一、敵情變化ナシ
二、中央隊ノ左第一線ハ本二十九日顧家宅ヲ攻略中ニシテ明
三十日吳家宅、沈家宅、吳宅ノ線ニ進出スル筈
右翼隊（歩兵第五旅團）ハ明三十日午後二時ヨリ「クリーク」

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ノ敵ヲ攻略シ小張宅、七房宅ノ攻撃ヲ準備ス

二、聯隊ハ明後十月一日黎明當面ノ敵ヲ攻撃シ陸家橋
クリーク辺ノ線ニ進出セントス

攻撃ノ重點ハ第三大隊正面トス

三、第一線各大隊ハ本夜クリーク東岸ニ攻撃陣地ヲ構
築シ明後十月一日黎明迄ニ突撃路ヲ完成シ黎明
ヲ期シ敵陣地ニ突入シ一撃ニ劉家行—陸家橋クリーク辺
ノ線ニ進出スヘシ

攻撃準備完了セハ報告スヘシ

突入ノ時機ハ午前五時三十分ト豫定スルモ別命ス

明三十日砲兵中隊ト協力シ大隊砲速射砲ヲ以テ敵
陣地ノ破壊ニ努ムヘシ

二一

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、歩兵砲中隊ハ明三十日敵第一線特ニ北沙宅西南方
及北店宅西方橋梁附近機關銃陣地ヲ破壊シ十
月一日黎明後主トシテ第三大隊ノ攻撃ニ協力スヘシ
三十日ノ使用弾ハ携行弾ノ半數トス
五、戦車中隊ハ十月一日黎明本道方面ヨリ主トシテ第三
大隊ノ攻撃ニ協力ス
六、砲兵隊ハ明三十日十二榴一中隊ヲ以テ陸家橋劉家行
東側附近ノ敵機關銃陣地ヲ破壊ス
明後十月一日ノ協力ニ關シテハ別ニ示ス
七、工兵隊ハ各第一線大隊ニ少ダモ輕渡橋二條ヲ架設ス
ル筈
八、予ハ現在地ニ在リ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0372

十月一日黎明無電台ニ到ル

下達法要旨ヲ電話後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

細部ノ攻撃要領左ノ如シ

九月三十日夜半　イ、突撃陣地ノ補強

ロ、架橋材料ノ運搬

十月一日　午前四時迄　イ、突撃陣地ノ完成

午前五時　イ、細部ノ敵情偵察

ロ、煙幕構成

ハ、架橋開始

ニ、渡河突撃路開設

午前五時三十分　突入

攻撃資材ノ分配左ノ如シ

各大隊　手投爆薬各四十個

發煙筒　五一八本

三三

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0373

渡河材料　各大隊二條（別ニ應用架橋材料一條）

發煙計畫別紙ノ如シ

Ⅲ　一五〇本

工　一三〇本（別ニ代用六〇本）

一四四

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

037?4

劉家行附近敵陣地攻撃ノタメノ發煙計畫

方針

一、第一次（第一線陣地ニ對スルモノ）
渡河及突入ヲ掩護スル場合ノ各大隊ハ第一線中隊ノ火テ以テ第一線ヲ敵ヲ切ク發煙ニ對シテハ第一大隊ハ左方ヨリスル側防ニ對シ發煙幕ヲ構成ス

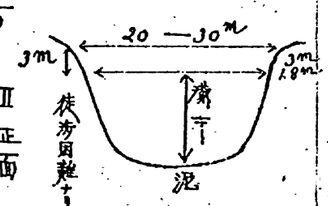
二、風向
二米東風ト予想ス

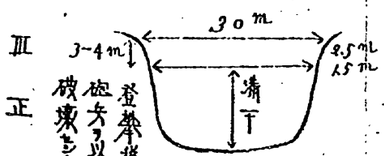
要領

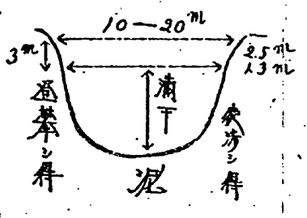
一、第一次（第一線陣地ニ對スルモノ）
渡河及突入ヲ掩護スル場合ノ各大隊ハ第一線中隊ノ火テ以テ第一線ヲ敵ヲ切ク發煙ニ對シテハ第一大隊ハ左方ヨリスル側防ニ對シ發煙幕ヲ構成ス
之ニ使用發煙筒
Ⅱ Ⅲ 各 六〇木
Ⅰ 六〇木（別ニ代用ニ〇）

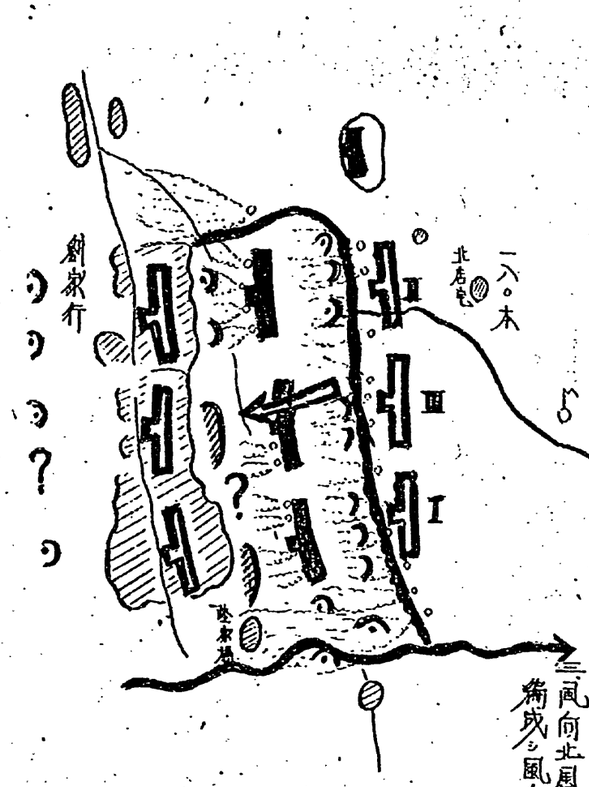
二、第二次（第二線陣地ニ對スルモノ）
ノ右要領ニ基キ發煙シ所命進出線ニ進出ス時ニハ第二第一大隊ハ各側防ニ對シ要スレハ發煙幕ヲ構成ス
之ニ使用發煙筒
Ⅱ 八〇木
Ⅲ 大〇木
Ⅰ 六〇木（別ニ代用ニ〇木）

三、風向北風ナルトキハ各大隊毎ニ發煙班ヲ編成シ風向ニ應シ煙幕ヲ構成セシム









備考「クーク」ノ狀態左ノ如シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

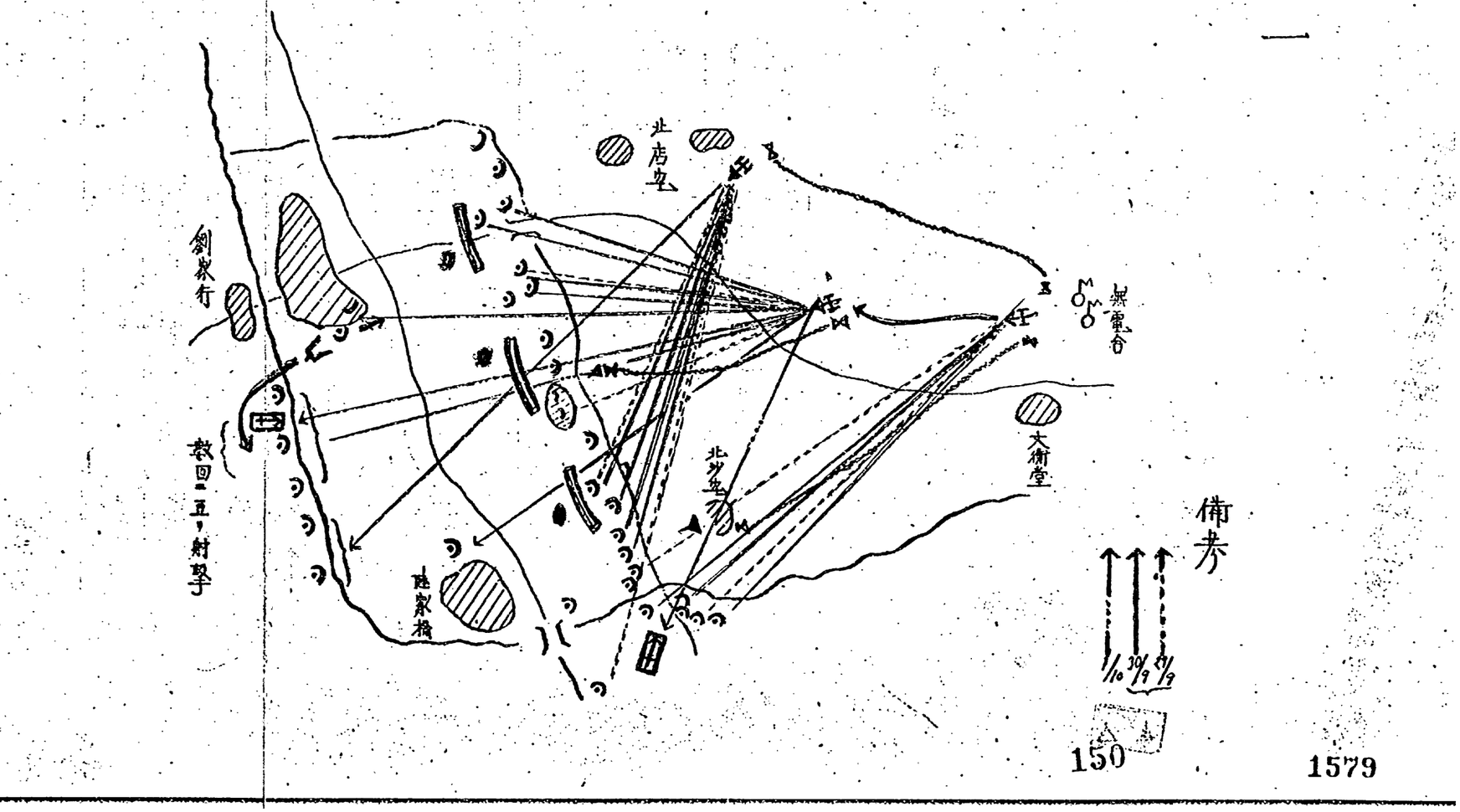
九月三日各大隊ハ日没後對壕作業ニ依リ逐次「クリーク」ニ近迫シ着
後ノ狀況々攻撃準備ヲ整フ
歩兵砲歩兵砲中隊ハ無電台及東部北店宅南方陣地ヲ
中隊ノ戰闘占領シ敵機關銃陣地ノ破壞ニ任セリ命中良好ニ
シテ多大ノ効果ヲ收メタリ
射撃ノ實施別紙要圖第一ノ如シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

別紙第一

歩兵砲中隊射撃要圖

（劉家行附近戰闘ニ於ケル）



備考

150

1579

0376

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

工兵隊ノ行動

工兵中隊ハ架橋材料ヲ第一線各大隊ノ位置ニ運搬ス尚劉家行橋梁ノ補修材料タル丸太其他ヲ自動貨車ニ依リ文衡堂附近ニ集積セリ

九月三日(曇)ノ状況

師團ハ敌徑「クリーク」ノ攻撃ニ於テ重點ヲ右翼隊正面ニ指向シ旅團ハ左歩兵第十八聯隊ニ重點ヲ指向シタル爲本日ノ砲兵ノ協力ハ僅カ十五榴一ケ中隊ノミナリキ

十五榴中隊ハ午後一時射撃開始シ先ツ第三大隊正面次ヲ第二大隊正面ノ機關銃地帶ノ破壊射撃ヲ實施セリ

歩兵砲中隊ノ活動

歩兵砲中隊ハ前日ニ引續キ射撃ヲ續行ス

命中極メテ良好ニシテ多數ノ敵掩蓋機關銃ヲ撲滅若ハ制壓シ聯隊ノ明一日黎明攻撃ヲ極メテ容易ナラシメタリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

速射砲中隊ハ主トシテ第二大隊正面（橋梁以北）ノ敵機關銃ヲ射撃シ効果極メテ大ナリ

射撃實施別紙要圖第一ノ如シ

第一線一時十五榴射撃危害ヲ避クル爲後退セル第一線ハ砲撃ノ狀況止ムヤ交通壕ヲ利用シ再ヒ攻撃陣地ニ前進シ明黎明攻撃ノ爲着々準備ノ完成ニ努メタリ

右翼隊

右翼隊ハ本日劉家行北方千五百米大平橋ニ進出セリ

狀況

午後七時左記命令ヲ下達セリ

歩兵第三十四聯隊命令　於小朱宅

一、敵情變化ナシ

二、聯隊ハ豫定ノ如ク明十月一日黎明當面ノ敵ヲ攻撃シ劉家行陸家橋コリーク以ノ線ニ進出セントス

152

1581

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、各大隊ハ明黎明當面ノ敵ヲ渡河攻撃シテ之ヲ確保シ（第一次）次ニ劉家行陸家橋「クリーク」ノ線ニ進出スヘシ

第一次　突入時機　午前五時三十分トス

第二次　攻撃前進ノ時機ハ別命ス

四、歩兵砲中隊ハ前任務ヲ續行スヘシ

五、協力砲兵ノ射撃準備別紙第五ノ如シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

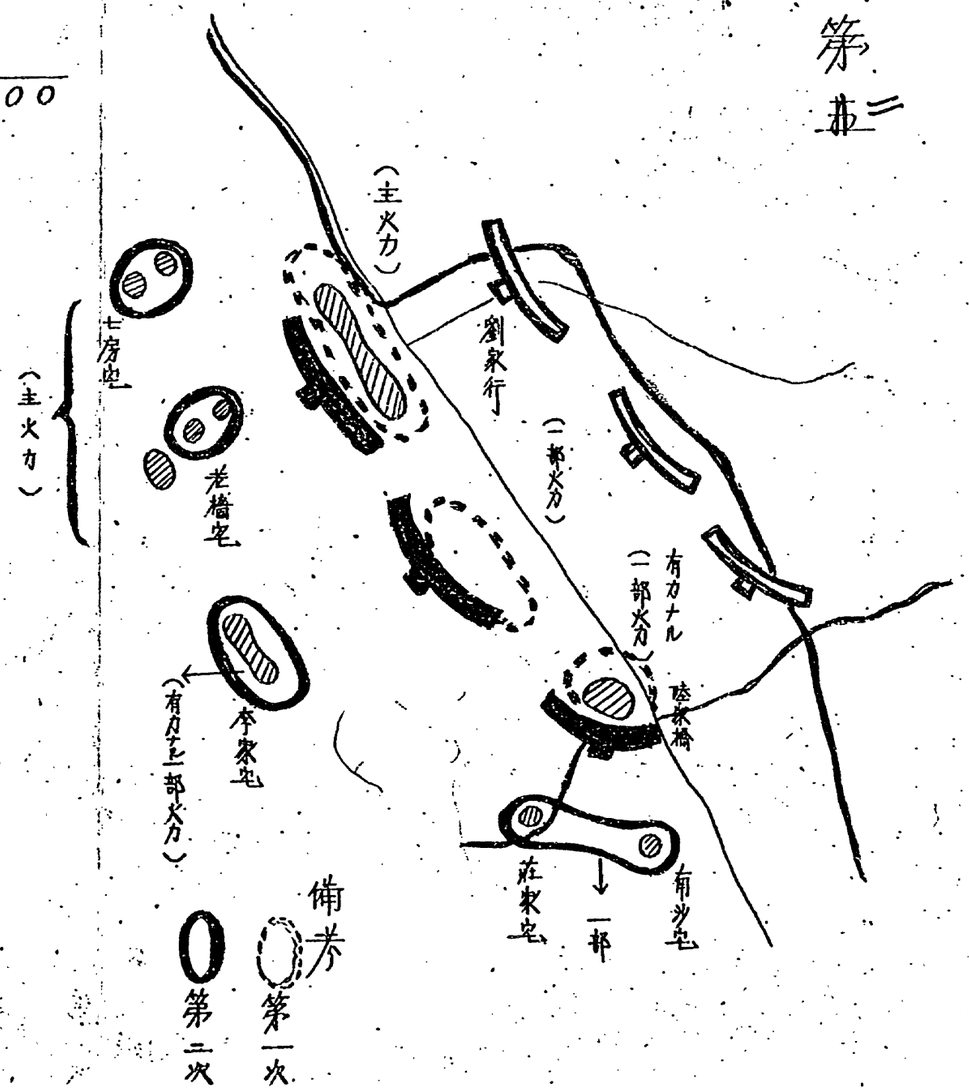
0380

野砲兵第三六隊阻止射撃要圖

別紙第二

N

1/20000



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

射撃要求ハ照明彈及電話併用ス

六、戰車ハ本道方面ヨリ午前六時三十分以後協力ス
敵陣地ヲ奪取セハ「クリーク」前岸後方斜面ニ國旗ヲ
以テ第一線ヲ標示スヘシ

七、予ハ現在地ニ在リ攻撃ノ進捗ニ伴ヒ無電台ニ到ル
下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

註 聯隊ノ第二次攻撃前進時機ヲ統制セルハ砲兵
射撃ノ効果ヲ待チテ劉家行南方ヨリ戰果ヲ
擴張セシカ爲ナリ

十月一日黎明時ニ於ケル氣象ノ狀態
風向北風ニシテ軟風ナリ
雲薄シ霧アリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

敵情

聯隊正面ハ師團ノ助攻方面ナリシヲ以テ攻撃準備間砲撃斷カリシニ依リ敵ハ稍油斷ヲナセル狀況ナリ

攻撃前ニ於ケル聯隊ノ戰力左ノ如シ

第一大隊　一六二名

第二大隊　一九六名

第三大隊　一八二名

註　第一大隊ハ第二、第三、第四中隊ヲ以テ混成第三中隊ヲ編成セル狀況ナリ

戰鬪經過

二月一日（晴）狀況

午前五時發煙ヲ開始ス

煙ハ見事ニ北風ニ流サレ「クリーク」ニ沿ヒ展張セラル暫ク

0382

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

シテ聯隊正面ハ完全ニ煙幕ニ覆ハレタリ
工兵隊ハ此煙ヲ利用シ敢然身ヲモ没スルコトクリーク」ニ飛
入リ架橋ヲ始メタリ
當時流速早クシテ架橋ノ流失スルモノ多キ景況ナリ然
レ共工兵隊ハ敵彈雨飛ノ中ニ在リテ眞ニ決死的奮
闘ヲ繼續シ第二大隊ニ一條第三大隊ニ二條成功セ
シメタリ
午前五時三十分突撃ヲ開始セリ
第三隊第三大隊ハ架橋ナルヤ直チニ渡河ヲ開始シ斷崖ヲ攀
登シ鐵條網ヲ切斷シ敵ノ手榴彈及機關銃射ヲ
冒シツヽ堅陣ニ突入シ逐次戰果ヲ擴張セリ
暫クシテ更ニ一條架橋ニ成功シタルヲ以テ之ヲ利用シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

テ更ニ戰果ヲ擴張シ早クモ午前七時前岸陣地ヲ確保セリ

第參隊第一大隊ハ午前五時四十分頃一部渡河セシメタル後(架橋砲彈ノタメ流失シタルヲ以テ)

狀況 無ク主力ヲ以テ第三大隊ノ架橋ヲ利用シテ突入シ逐次南方ニ戰果ヲ擴張セリ

午前八時前岸陣地ヲ確保セリ

第參隊第二大隊ハ成功セル第八中隊正面ノ一條ノ橋ニ依リ突

狀況 擊ヲ開始シタルモ三ケ分隊ヲ渡河セシメタルノミヲ以テ遺憾乍ラ折カラノ滿潮ニ依リ流失スルニ到ル

大隊ハ此處ニ於テ直チニ工兵ニ再架橋ヲ要求スルト共ニ既設橋梁(破壞セラレアリ)ヲ利用シ徒渉セシメタリ

然レ共之亦敵ノ手榴彈猛烈ヲ極メ功ヲ奏セサリキ

158

1587

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

此處ニ於テ大隊ハ戰車ノ協力ヲ要求シ來ル聯隊ハ直チニ戰車中隊ニ連絡ヲ取リテ第二大隊ノ戰鬪ニ協力スヘキヲ要求セリ

戰車中隊ハ當時第三大隊ノ戰鬪ニ協力中ナリシカ聯隊ノ要求ニ基キ第二大隊ノ戰鬪ニ協力スヘク直チニ第二大隊長ト密接ナル協定ヲナシ午前七時橋梁東側ニ展開シ前岸ノ機關銃陣地ニ對シ徹底的ナル攻撃ヲ實施ス

此効果大ニシテ敵火力衰ヘ始メタリ

第二大隊 午前十時二十分流失セル橋梁補修セラレタルヲ以テ大隊ハ速ニ戰車ノ援護ヲ受ケツヽ突撃ヲ起シ遂ニ午前十一時十五分前岸陣地ヲ確保セリ

狀況 0385

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

敵情敵ハ我猛攻ニ依リ逐次劉家行東端ヲ連ヌル線ニ後退ニ
セリ
各大隊ハ前岸陣地ヲ確保シテ爾後ノ攻撃ヲ準備ス
聯隊本部ハ午前十一時戰闘指揮所ヲ無電台ニ推
進セリ
工兵中隊ハ第二大隊ノ渡河終ルヤ豫メ準備シタル杭
料ヲ以テ補修ヲ開始セリ
敵彈雨飛ノ間能ク奮闘シ午後三時頃早クモ完成
セリ
戰車第一中隊ハ橋梁ノ補修成ルヤ速ニ攻撃前進
ヲ起シ一部ヲ以テ羅店鎮ー大場鎮道ヲ蹂躙スルト
共ニ主力ヲ以テ劉家行部落ニ突進セリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第二大隊ハ戦車ノ前進ニ續キ獨斷攻撃ヲ再興シ神速ニ部落ニ突入セリ時ニ午後三時二十分ナリ

第三大隊ハ第二大隊ノ攻撃ニ連繫シ劉家行南方ニ突進ス

爾後第二、第三大隊ハ戦車中隊ト共ニ部落ヲ掃蕩シ午後四時過完全ニ占領セリ

第一大隊ハ陸家橋ヲ奪取スヘク鋭意攻撃ヲ續行シタルモ敵頗ル頑強ニシテ遂ニ奪取シ得スシテ日没ニ到ル

聯隊長ハ以上ノ情況ヲ知ルヤ戦車ニ依リ軍旗ヲ捧シテ劉家行ニ前進セリ時ニ午後六時ナリキ

金家灣附近ノ戦闘以來苦闘ニ苦闘ヲ重ネタル一五九

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

将兵ノ志氣ハ劉家行ノ占領ニ依リ鼓舞セラレ爾後屢々ノ逆襲ヲ撃退シ劉家行ヲ確保セリ

野砲兵第三大隊ノ活動

協力野砲兵第三大隊ハ別紙計畫ニ基キ豫定ノ如ク拂曉後第一次阻止射撃ヲ開始ス命中良好ニシテ第一線ノ「クリーク」前岸陣地ノ確保ニ多大ノ効果ヲ與ヘタリ

敵ハ我劉家行攻略ニ依リ第五十七師ハ西方ニ第十五師ハ南方ニ退却セリ協力砲兵及第二大隊機關銃ハ退却セル敵ニ對シ適時適切ナル射撃ヲナシ殲滅的打撃ヲ與ヘタリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一大隊ハ十月二日午前七時陸家橋附近ヲ完全ニ占領
第大隊 戦闘セリ

本戦闘成功セル主因

イ 黎明攻撃
ロ 企圖ノ秘匿
ハ 煙ノ大規模使用
ニ 火焔爆薬ノ使用
ホ 攻撃時期ノ統制

ヘ 第三大隊ノ周到ナル準備ニ基ク渡河ノ成功
ト 工兵隊ノ決死的架橋竝ニ迅速ナル橋梁修理
チ 戦車中隊ノ適切ナル協力

尚右翼隊ノ九月三十日太平橋ニ進出セルハ聯隊ノ本日ノ攻撃ヲ容易ナラシメタリ

劉家行附近敵陣地別紙要圖第三ノ如シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0390

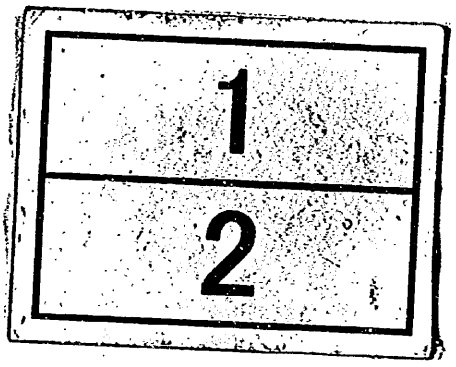
荻徑「クリーク」附近戰鬪經過別紙要圖第Ⅲ號ノ如シ

本戰鬪ニ於ケル成果

敵ノ遺棄死体　三三四〇

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	Ａ３版以上のため
文書等名	劉家行付近敵陣地要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

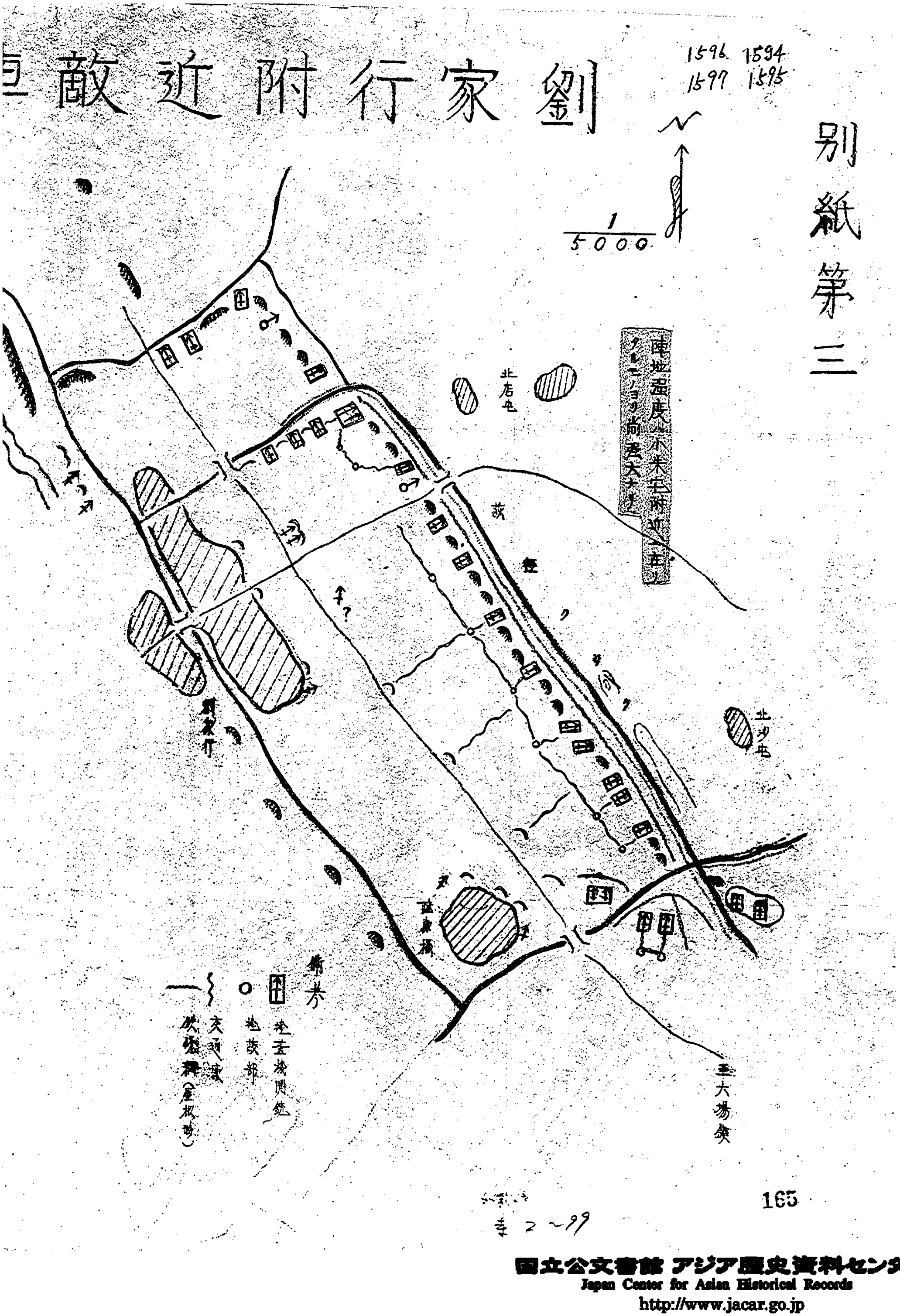
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

別紙第三

劉家行附近敵陣地配置概見図

1596 1594
1597 1595

1/5000



165

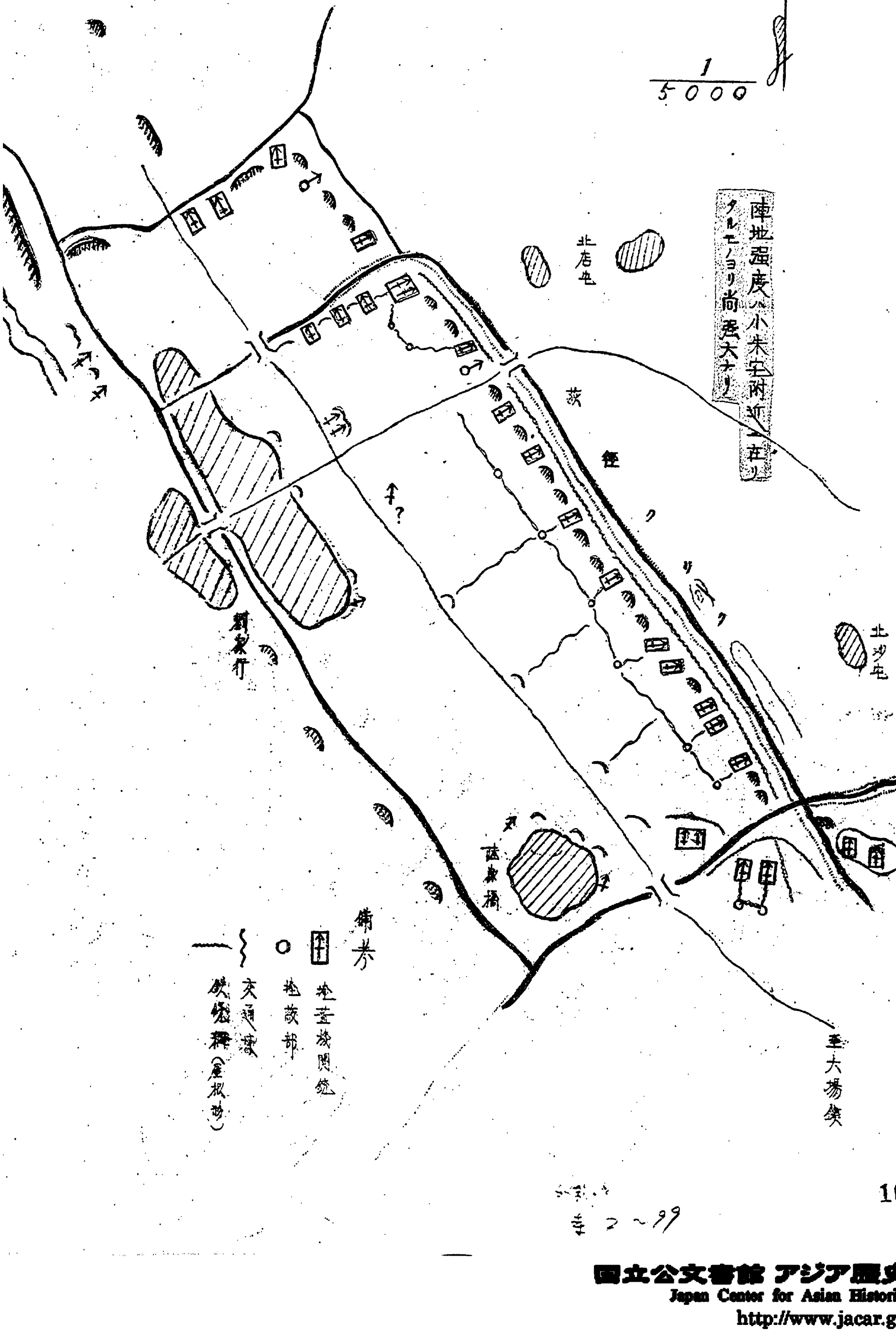
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

劉家行附近敵陣地強度小米宅附近ニ在リ

別紙第三

1596 1594
1597 1595

1/5000



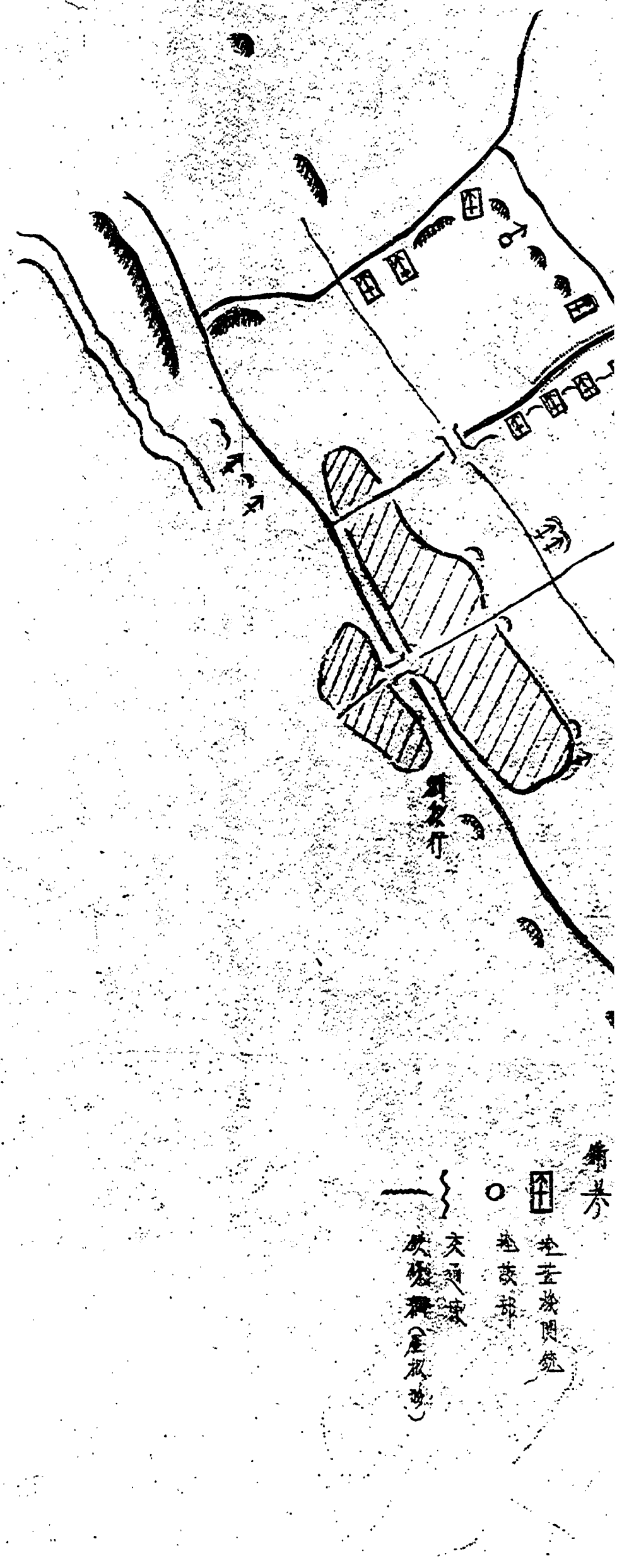
備考

地盛機関銃
地蔵部
交通壕
鉄條網（屋根形）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

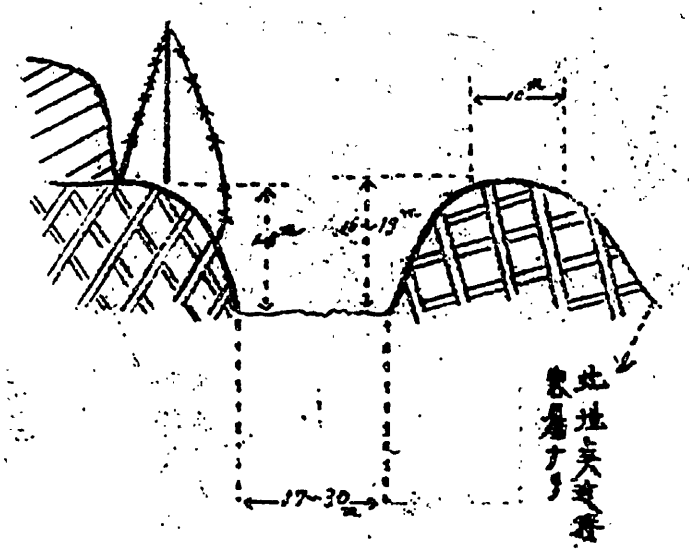
T630

附近敵陣地要圖

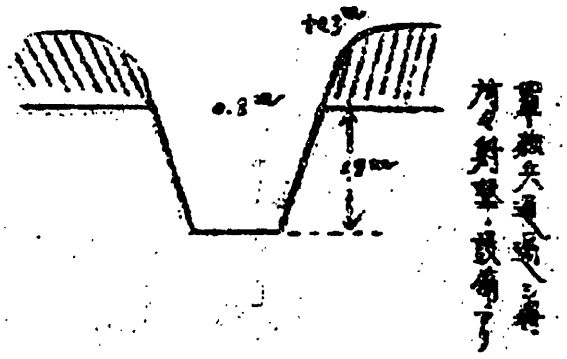


註

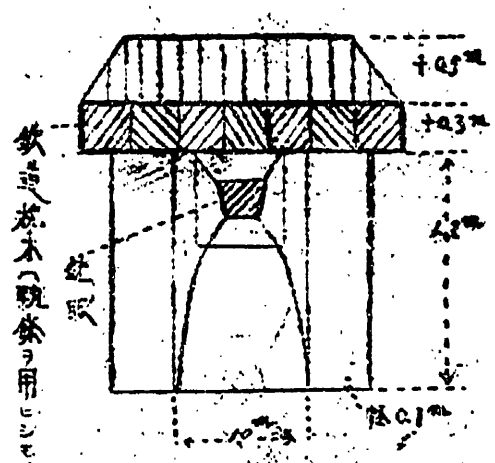
(一)「クリーク」断面圖



(二) 交通壕



(三) 掩蓋



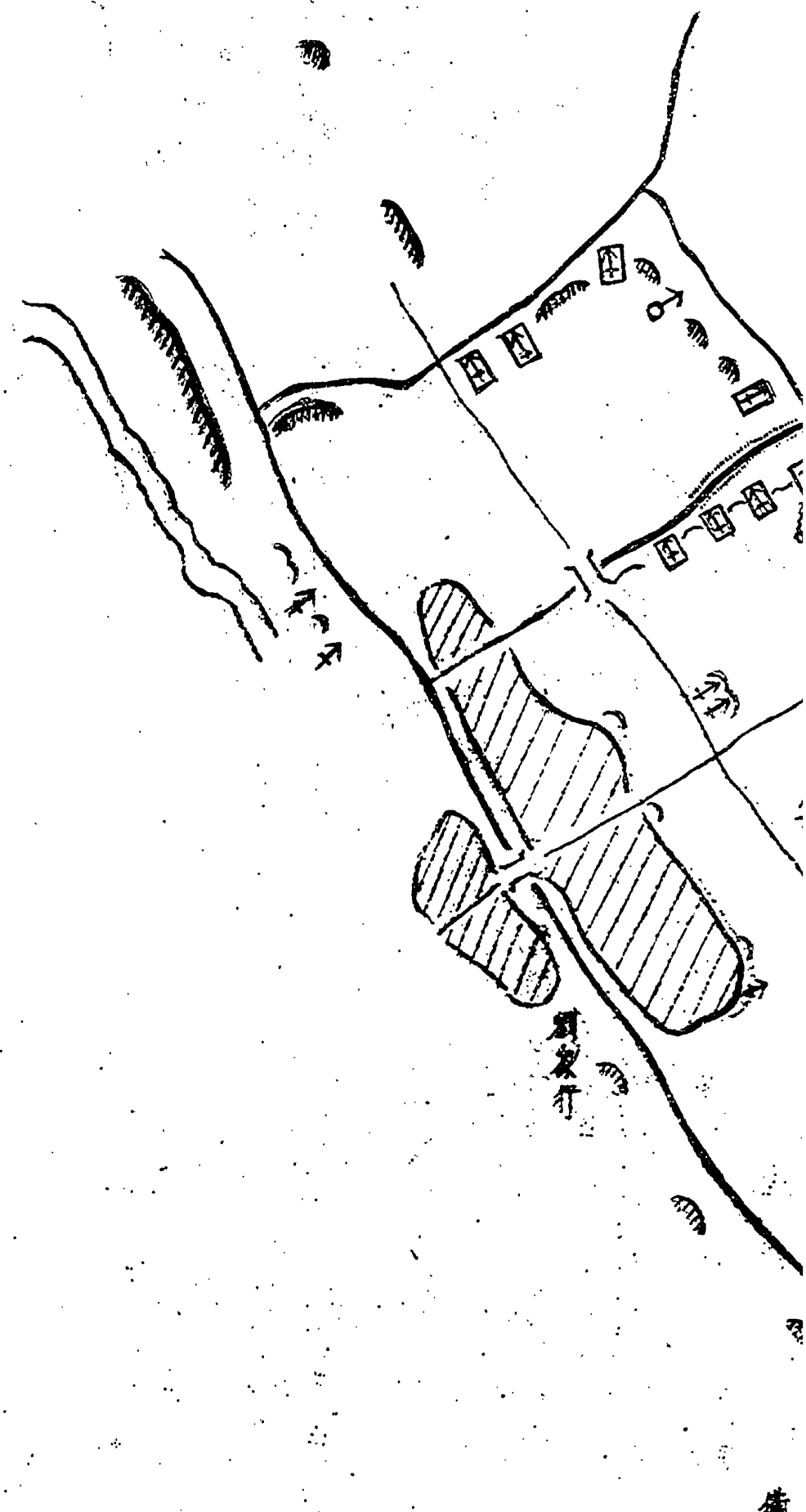
(四) 掩蓋

野山砲迫ニ以テシテハ破壊困難ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

TGE0

附近敵陣地要圖



備考

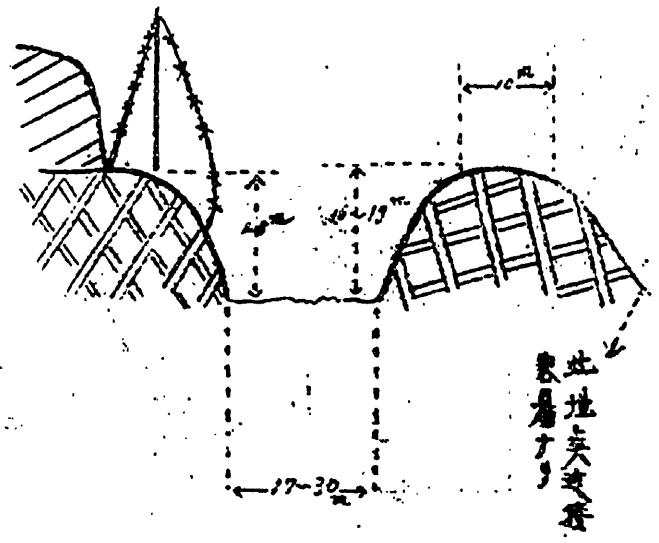
甲 地雷設置地域

○ 交通壕

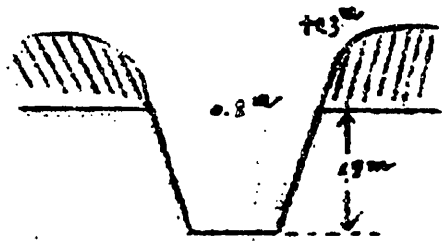
乙 鉄條網（屋根形）

註

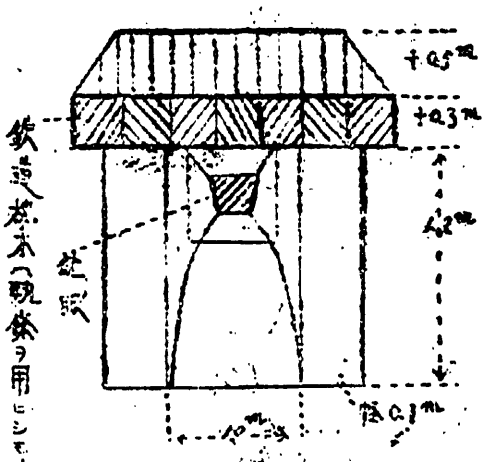
(一)「グリーク」断面圖



(二) 交通壕



(三) 掩蓋

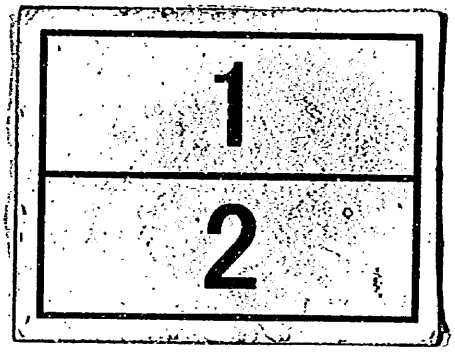


(四) 掩蓋

野山砲弾ニ對シテハ破壊困難ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

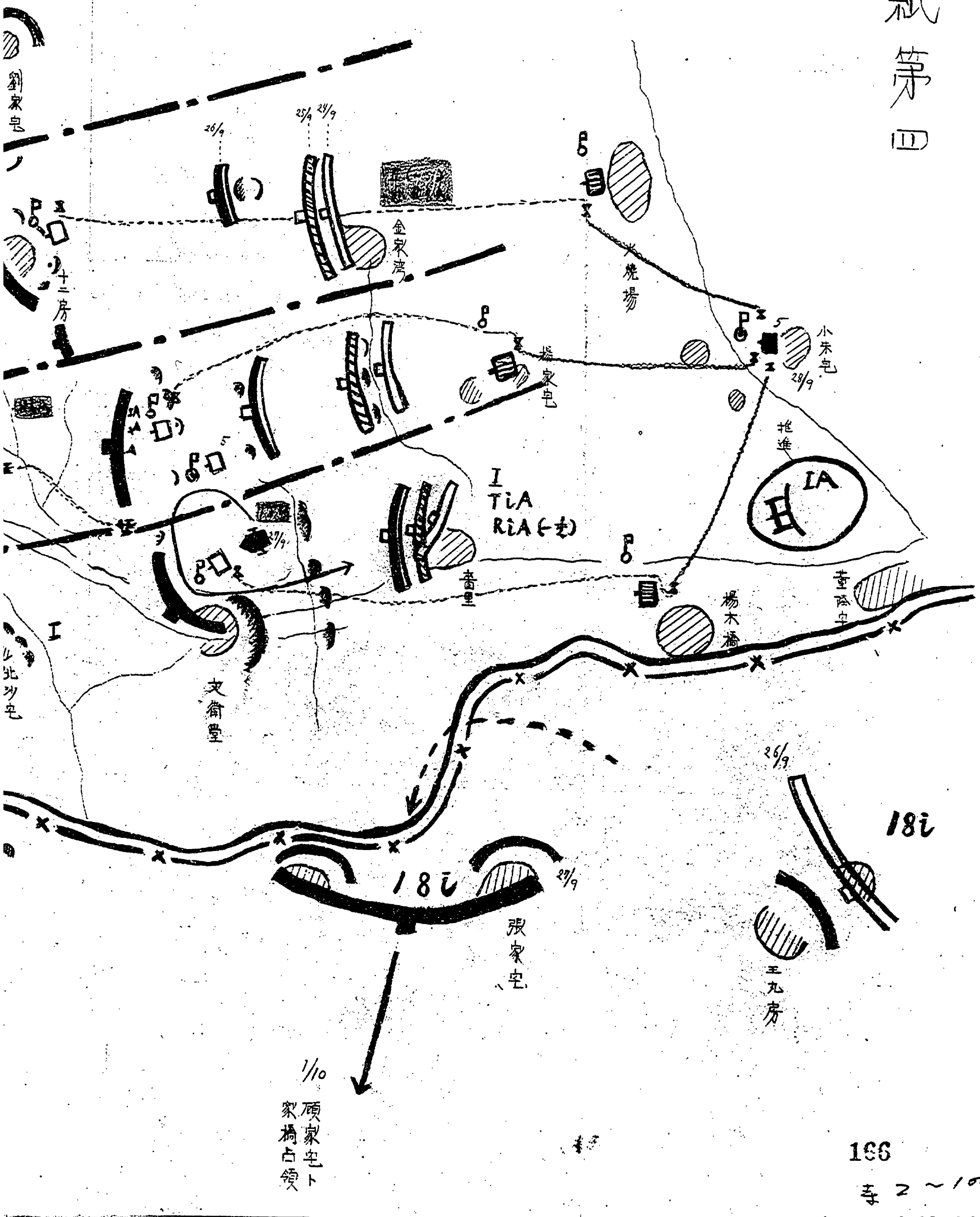
分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	自9月24日 至10月2日 荻径クリーク付近戦闘経過要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

萩径クーリク附近

自九月十四日 1600 1598
至十月十二日 1601 1599

別紙第四



166

手2～100

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

萩径路 クリーク附近

自九月十四日 1600 1598
至十月十二日 1601 1599

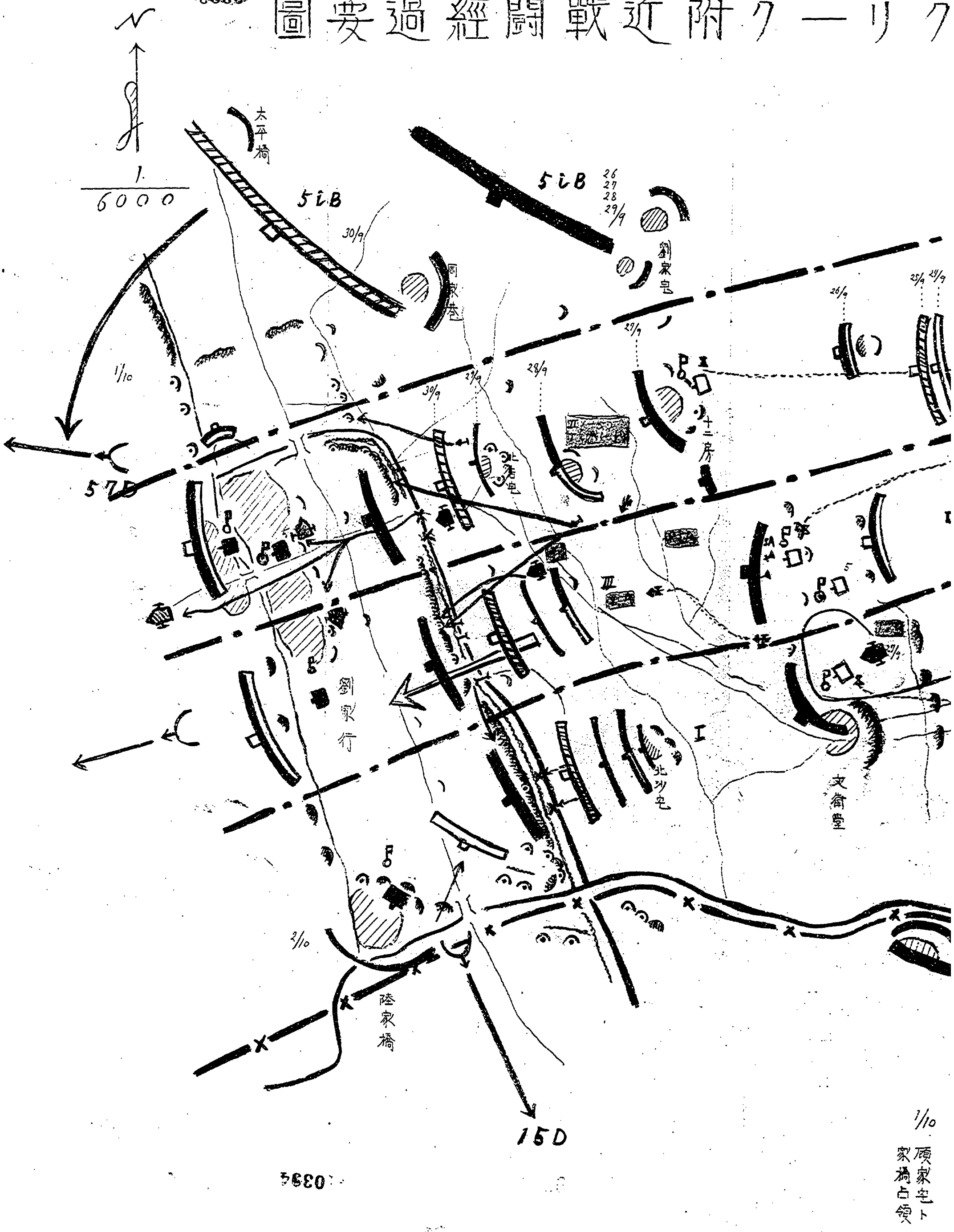
別紙第四

166

手2～100

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

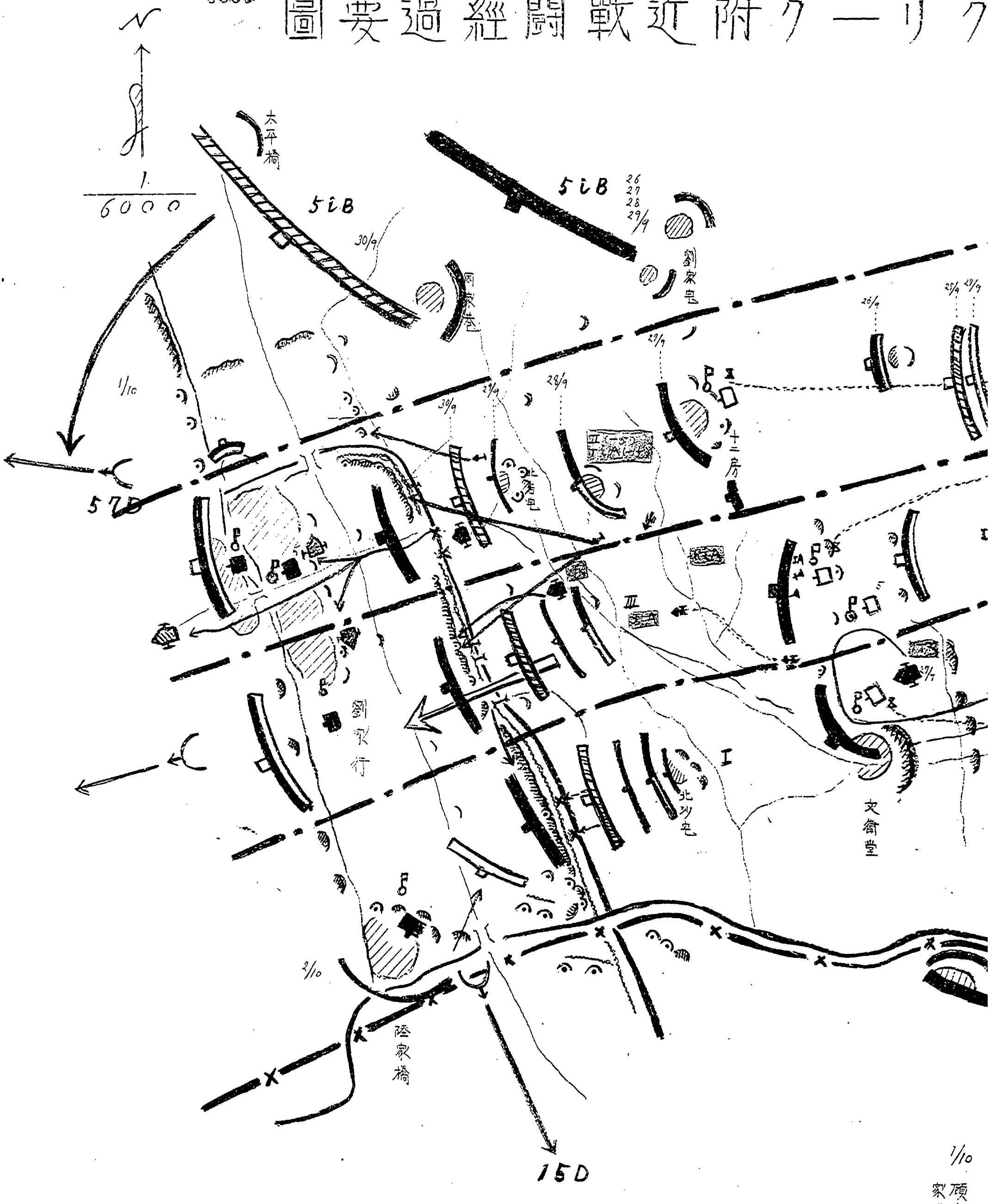
クーリク附近戰鬪經過要圖



0354

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

クーリク附近戦闘経過要図



0354

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp